

第三回定例議会開催!

松丸まさし議員 渡辺とも子議員が代表質問

平成23年 第三回定例会において、松丸まさし議員・渡辺とも子議員が公明党文京区議団を代表して、一般質問を行いました。質疑の内容は次の通りです。(要旨)

◆松丸まさし議員

地域防災計画の修正

問 地域防災計画の修正に当たっては、防災教育の徹底や女性の視点からの防災対策の推進、耐震化の強化など、東日本大震災の様々な教訓を生かしていくべきと考えるが、見解を伺う。

区長 地域防災計画には、防災教育の一層の充実や、災害時要援護者への対応などに女性の視点を入れることなど、配慮を考えている。

特別支援学級の設置について

問 子どもの通学の安全や子どもを地域の学校で生活させたいと願う保護者の心情を考え、特別支援学級が設置されていない根津・千駄木・目白台地域に早急な設置を望む。

教育長 特別支援教育振興委員会の中で、児童・生徒数の増減や地域的な分布状況把握を行い、適正配置に向けた検討を行っている。

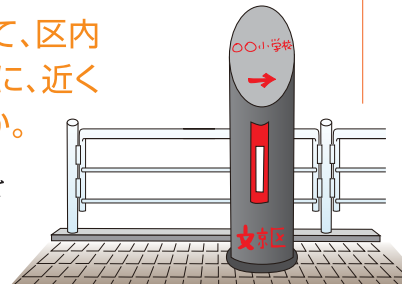


◆渡辺とも子議員

災害時の避難誘導対策について

問 災害時における区民や帰宅困難者等の避難誘導の一つとして、区内の主要幹線道路や街角に設置してある、消火器ボックスの上に、近くの避難場所とその方向を示す矢印を標示することは、いかがか。

区長 既存の消火器ボックスについては、避難場所への案内標示をしているが、きめ細かい標示については、今後、検討していく。



乳がん検診について

問 検診では、マンモグラフィー検診か超音波検査の選択ができて、超音波検査を受けて乳がんの疑いがある場合は、マンモグラフィーによる再検査ができるような検診への変更を求めるが、いかがか。

区長 乳がん検診における超音波検査の有効性については、国において研究が進められており、国の動向も見据えながら適切に対応していく。



施設長の案内で説明を受ける公明党文京区議団

◎公明党文京区議団の推進により実現した、区有地を活用した区初の知的障がい者グループホーム・ケアホームが新設!

公明党文京区議団が強く推進してきた障がい者施策が実現しました。茗荷谷駅より徒歩4分の場所に(東京都文京区小石川5丁目7番)平成23年11月1日より区有地を活用した知的障がい者グループホーム・ケアホーム「エルムンド小石川」が開設されました。知的障がいを持たれている方への食事の提供、健康管理、入浴・日常生活に関する相談や個々に必要なサポートを行なっていきます。入居対象は原則として、文京区在住・18歳以上の知的障がい者で愛の手帳をお持ちの方です。公明党はこれからも障がい者施策に全力で取り組んでまいります。

渡辺 知的障がい者の方が地域の中で共同して自立生活が送れるためにも、グループホームやケアホームなど施設の充実が望まれるが、区として今後どのように考えているのか伺う。

区長 グループホーム等は、障がい者が住み慣れた地域で安心して暮らしていくために欠くことのできない重要な施設であると考えており、今後さまざまな機会をとらえて出来る限りグループホーム等を誘致するなど、障がい者計画に掲げた計画を着実に実行していきたい。

【平成21年第3回定例会において渡辺とも子議員が代表質問】

お問い合わせ先: 文京シビックセンター9階北側 障害福祉課障害者施設担当 電話番号: 03-5803-1285